



第3章 「小管理 (Petty Management) の重要性」

「小管理」って何？聞きなれない言葉ですよ。

ナイチンゲールは、

『どんなに良い看護を充分に行ったとしても、ひとつのこと一つまり小管理一が欠けていれば、言い換えれば「あなたがそこにいるとき自分がすることを、あなたがそこにいるときにも行われるように対処する方法」を知らないならば、その結果は、全てが台無しになったり、まるで逆効果になってしまうであろう。』と述べています。

－「看護覚え書き－看護であること、看護でないこと－（改訂第7版）」現代社より

自身の身を削って、患者さんのために一生懸命働いていた。そんな経験、ありませんか？
どんなに自己犠牲して働いていても、小管理が欠けていたら、求められている看護は提供できないのだということです。

「小管理」の項目を読み解いていくと「実は、私1人でそんなに頑張らなくてもよかった！」ということに気づくことができると思います。看護をひとりで行うことは不可能なことで、チームでやるものですから、自分がいないときにどんな危険が起こりえるかを考え、常に患者の状態を気遣い段取りを整えておくことが必要だということです。

ナイチンゲールは、自分がいなくても、誰もが同じ内容の看護ができるように工夫することを“自分自身を拡大する技術”と名付けています。

よい看護を提供しようとするのであれば、自分ひとりで患者のためにすべてを投げ打って献身的に尽くすのではなく、小管理能力を身につけて、患者がいつでも安心して看護を受けられるように整えることが大切です。

次回は「小管理」についてもう少し詳しく提示したいと思います。

種田美和

～中学生職場体験～



竹下佳代

気を付けていることは？

*変化がないか注意して観察していること

うれしかったことは？

*患者さんが安心して生活を送れること

*「ありがとう」と感謝してもらえたこと

苦労することは？

*制限が多い患者さんに守っていかねばならないことを理解してもらうこと

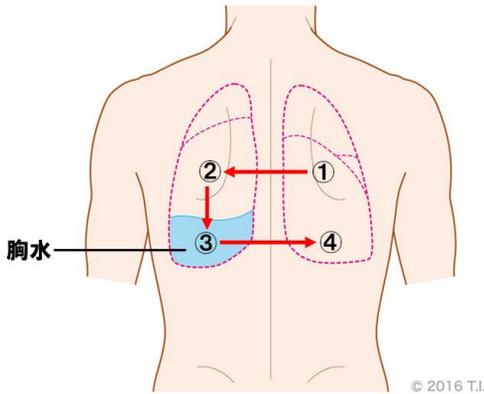
未来へメッセージ

*好きなことは長続きするので好きなことをみつけてほしい



フィジカルイグザミネーション～声音振盪～

聴診は画像検査などがすぐにできない訪問看護では、聴診が患者さんの体の中の状態を知るための重要な手段です。



声音振盪（せいおんしんとう）は、患者さんに低い音で発声してもらい、その声の響きが肺を通して体表にどのように伝わるかを調べる検査です。

図のように聴診していくと③の位置に聴診器を当てた際、胸水があるため、声がかぐもった感じ（遠くで声が聴こえる感じ）になります。

【問題】

胸水ではこういった疾患や症状が考えられますか？
また、どのような看護を行いますか？



古田いづみ

参考文献：看護 r oo. 「胸水患者さんの聴取音」

コラム

～看護師に求められるコミュニケーション能力を考える～



人はそれぞれ異なる教育、文化、経験があり、異なる人間観、人生観といった価値観を持っていることを忘れないこと。

コミュニケーションは異なる価値観をもつ、人と人との営みです！

まずは自分自身の価値観、習慣、知識、態度を客観的に見つめる機会をもち、さまざまな看護場面においてコミュニケーションの経験を積み重ねていくことで、必要とされるコミュニケーション能力が高まるでしょう！

自分の価値観を見つめる時間・・・持っていますか？

引用・参考文献 石 葵. 看護師に求められるコミュニケーション能力. 臨床透析. 2024.

安藤香

編集後記

古田副センター長からは、問題が、安藤主任からは問いかけがありました。皆さんどうですか？
胸水について、改めて考えてみてくださいね。そして、自分の価値観を見つめる時間、私は持ててなかった気がします。みなさん、いかがですか？

それから、中学生が職場体験に大垣北クリニックへ来てくれました！日頃の私たちの仕事を体験し、将来に向けて何かしら感じ取っていただけたらうれしいですね！

兒玉君子

